

# 資生堂銀座ビル

SHISEIDO GINZA BUILDING

No. 13-026-2013作成

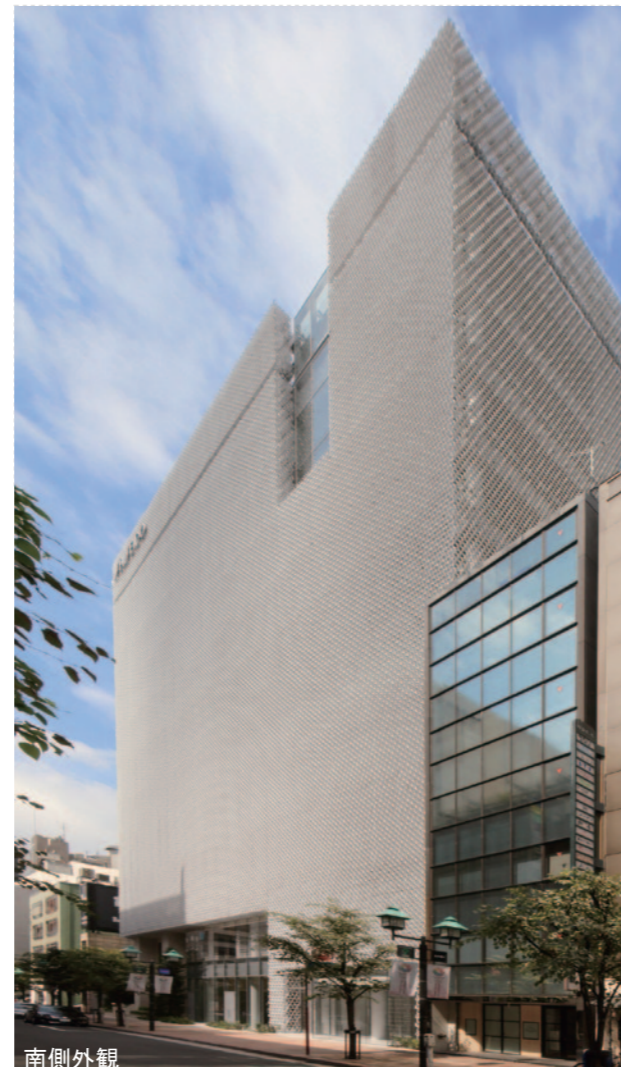
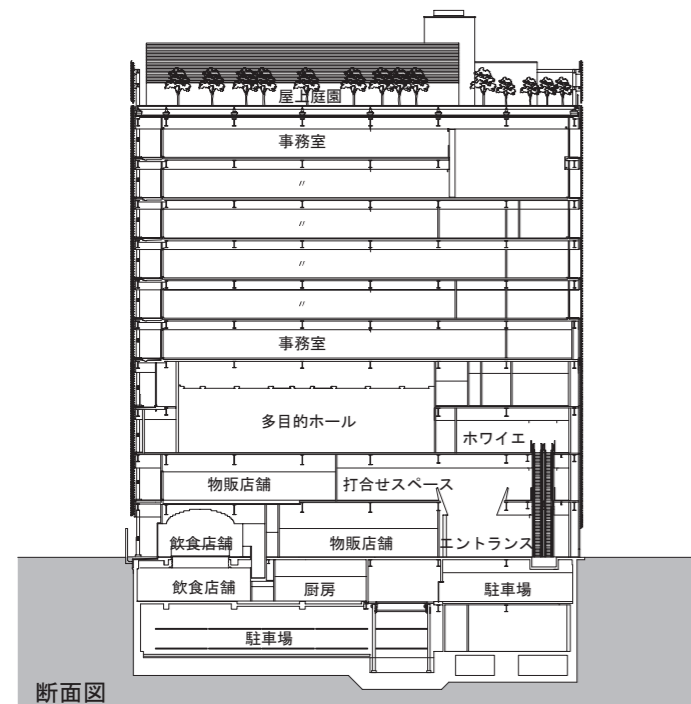
新築

事務所／集会場／物販／飲食

発注者	株式会社 資生堂	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO <sub>2</sub> 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術／FB
設計・監理	株式会社 竹中工務店 TAKENAKA CORPORATION	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	株式会社 竹中工務店	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

## 環境技術に支えられた価値創造拠点

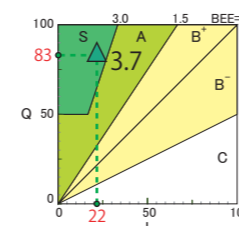
銀座並木通りに建つ本社旧社屋（1966年竣工）の建替えとして、未来に向けた新しい価値の創造と、ブランド力の強化のためのクリエイティブ部門を集約した「価値創造拠点」として計画されたオフィスビルである。建物は上層の5フロアを創発型のワークプレイスとし、約14m×44mの整形なオフィス以外に、吹抜けに面して外部人材との接点となるクリエイティブスペースを設置した。低層には情報受発信のための多目的ホールや展示・ギャラリースペース、路面に飲食・物販店舗を設け、銀座という地の利を活かすとともに地域の発展に寄与する用途で全館構成されている。設計デザインコンセプトを「先進性・豊かさ・オリジン」とし、高い耐震性や環境配慮など最新エコ技術の導入と共に、外装から内装の細部にわたるまで普遍的な自然素材を用いながらオリジナリティの高い表現で展開し、社名の由来である「万物資生」の精神にこだわっている。建物外装を一体で覆うアルミシェードは、オリジナルデザインの「未来唐草」で構成され、自然光や視線の制御をしながら流麗な景色・インテリアを創出し、銀座の街に新しい息吹を与え未来への予兆を感じさせる、美しい有機的な表現を追求した。



南側外観



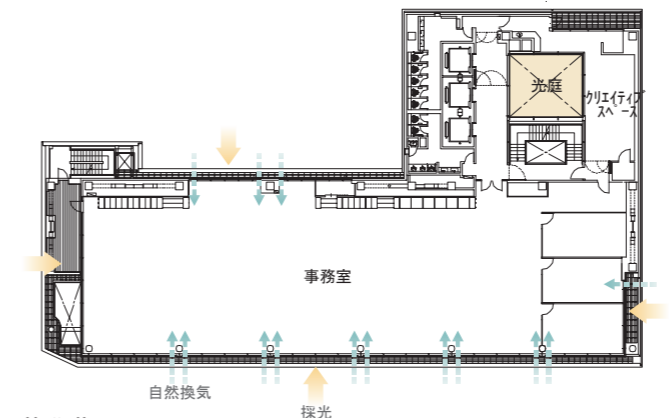
事務室内観

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価
所在地	PAL削減 21 %	Sランク
竣工年	ERR (CASBEE準拠) 28 %	BEE=3.7
敷地面積	LCCO <sub>2</sub> 削減 24 %	2010年度版 第三者認証
敷地面積		
延床面積		
構造		
階数		

## 快適な執務空間を生み出す環境技術

基準階事務所は立地条件を最大限に生かした4面採光とし、外装アルミシェードによる日射の抑制とともにコア部にもボイド（光庭）を設けることで自然採光による柔らかい光環境を創り出している。

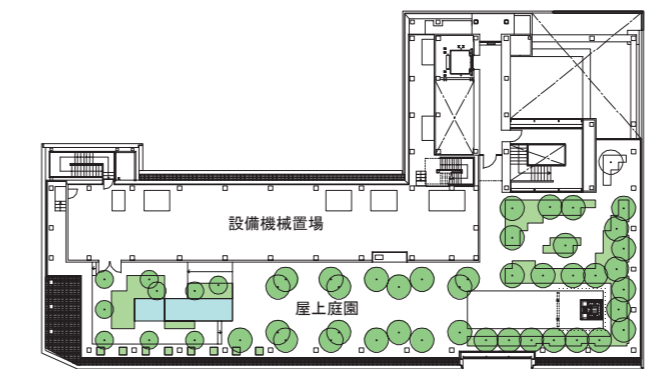
インテリア空調には空冷ビルマルチとダンボールダクトSAチャンパーBOXおよび天井アルミバンチング材を組み合わせた輻射空調方式を導入し、ドラフトを抑えた空気環境を実現した。また、執務者の嗜好に追従するため、パーソナル吹出口を設けPCブラウザ上でON/OFF操作を可能とし、満足度の向上も図っている。中間期には、サッシュ両端部に設けた手動式換気パネルからの自然換気を行うことで、室内空気環境の向上と省エネを図れるよう配慮している。その他にもLow-eペアガラスや全館LED照明の採用など多様な環境技術を導入することでCASBEE「S」クラスの第3者認証を取得している。



基準階平面図

## 生物多様性に配慮した屋上庭園

屋上には、銀座周辺で行った生物環境調査に基づいた植栽計画による屋上緑化を施し生物多様性に貢献している。また、化粧品の原材料となる植物も植えられ、リフレッシュを兼ねたコミュニケーションゾーンとしての利用も図っている。



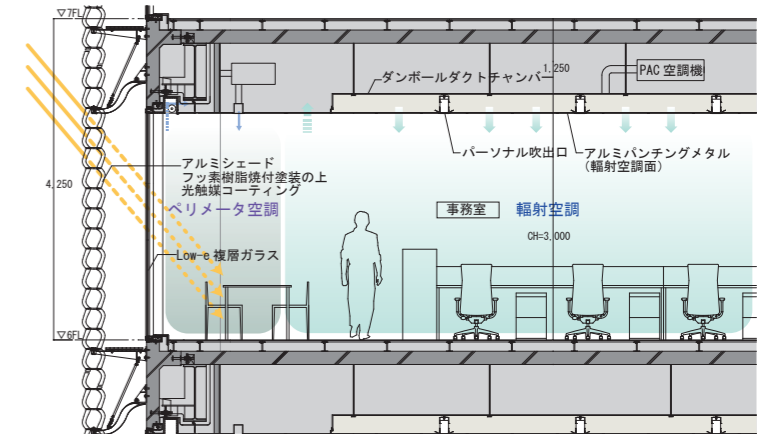
屋上平面図

設計担当者

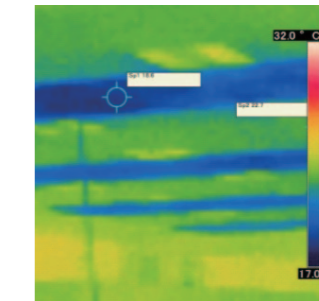
統括：濱野裕司／建築：美島康人、丸林哲、山仲多佳、原弘／構造：星野正宏、伊藤利明、岡村祥子／設備：渡部恭一、村下和紀、鈴野徳之／ワークプレイス：徳本幸男、平山朋史、岩崎太子郎  
石崎直孝／ランドスケープ：向山雅之、赤岩麻里子

## 主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2. 2. 耐用性・信頼性（災害時の機能維持、高い耐震性）
- Q3. 1. 生物環境の保全と創出（生物環境調査に基づく屋上・外構緑化）
- LR1. 1. 建物の熱負荷制御（外装アルミシェード、Low-eペアガラス）
- LR1. 2. 自然エネルギー利用（自然換気、自然採光、太陽光発電）
- LR1. 3. 設備システムの高効率化（LED照明、センサー制御、輻射空調）



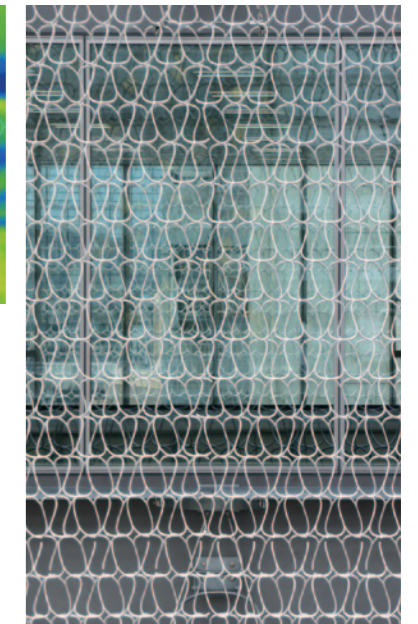
基準階断面図



輻射パネル表面温度の検証

## アルミシェード

三次元の有機的な形状が、近接建物からの視線制御やそれと相反する開放性の確保、熱や光などの日射制御（熱負荷として10%以上の軽減）を可能にしている。



アルミシェードのディテール



屋上外観